

STOP! 薬害

★「薬害」とは★

医薬品には有効性と同時に副作用も併せ持っています。日常の治療の中で残念ながら副作用が起こることもあります。それは「薬害」とは定義されません。「薬害」とは重大な副作用が起こることを知りながら、製薬企業の利益追求のために販売を続けた結果や、危険性を察知した厚生省が早期に販売の中止を指示しなかったことによって、大量に副作用被害者が発生するといった、いわば「人的な被害」によるものです。それゆえ、「薬害」はなくさなければならぬのです。

★8月24日は「薬害根絶の日」

1999年、厚生省（現在の厚生労働省）は薬害再発防止を決意し「誓いの碑」を庁舎正面に建立しました。全国薬害被害者団体連絡協議会はこの日を「薬害根絶デー」とし、毎年国との交渉を続けています。私たちも、連帯して薬害根絶を訴えます。



誓いの碑

命の尊さを心に刻みサリドマイド、スモン、HIV感染のような医薬品による悲惨な被害を再び発生させることのないように医薬品の安全性・有効性の確保に最善の努力を重ねていくことをここに銘記する

千数百名もの感染者を出した

「薬害エイズ」事件

このような事件の発生を反省し

この碑を建立した

平成11年 8月 厚生省

【日本の主な薬害の歴史】

1961年：サリドマイド

1970年：スモン

1973年：筋短縮症

1983年：薬害エイズ

1988年：陣痛促進剤

1989年：新三種混合(MMR) ワクチン

1996年：薬害ヤコブ

2002年：薬害肝炎

2002年：薬害イレッサ

2006年：薬害タミフル など

この誓いの碑を薬害根絶のシンボルとして、国や製薬企業が国民一人一人の命を大切にしているか、患者の人権を尊重しているか、医薬品の危険性に注意を払い適切な対策を取っているかなど、絶えず厳しい監視の目を向けていくことが私たちの重要な役目だと思っています。

一般社団法人保健共同企画ふくい
みどり薬局・あわの薬局